

幕府上已

者先皇帝○武桓及皇太后○藤原平城母后登遐之月也。在於感慕最似不堪。三日之節宜從停廢。
〔長祿二年以來申次記〕同月○三日公家、大名、外様、御供衆、申番頭、節朔衆出仕也。

一御鳥合在之

一御對面同御盃次第事 三職、御相伴衆、國持、外様、番頭、節朔衆、公家までなり。

〔年中定例記〕殿中從正月十二月迄御對面前御祝已下之事。

一三日○三月御對面前のごとし。
略中

一内々の御祝の次に蓬餅まいる。

〔殿居囊〕武家年中行事

三月三日 五時熨斗目長袴、上已御祝儀、御不參之御三家方、當日使者如正月十五日。

〔柳營新編年中行事三月〕一月次之御禮、近年依上已御祝儀近雖無之、二月廿八日御差合出仕無之
ニ付、此一日出仕可仕旨被仰出、揔出仕有之候。

一爲上巳之御祝儀 一種一荷、御三家方々、二種一荷、日光御門跡々、右之通被差上之、謁老中使者

退散、

同三日 上巳

熨斗目長袴

一御白書院出御、御^{のしほ}長袴 御差立老中勤之、御刀、御小性衆役之、但シ御間飾無之、御三家方、同
御嫡子方、松平加賀守、松平肥後守、松平讃岐守、松平下總守、井伊掃部頭、松平中務大輔、右御禮、
御次之間ニ而高家詰衆芙蓉之間御役人祇候御目見畢而○
註 大廣間江渡御、

一大廣間御中段御腰物掛^{御座疊御襪}有之、御先立老中司之、御勇、御扈從役之、例式之通、國持侍從以上御
下段御敷居之内々二疊目四品以下拭緣、諸大夫より二人三人護持院、金地院、御次之間西之
張出に法印并法眼之醫師、御納戸構後、御使番著座有之、御車寄落縁、舞之猿樂罷在、右之